



☆ 防火壁 壁画 完成 ☆



弊社のエントランスの一角にある防火壁。

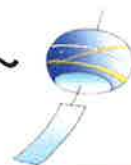
社屋の移転後間もなく、その壁に社長の“ある思い”から京都造形芸術大学さんのご協力のもと、壁画を描いて頂くことになりました。壁画の製作は主に3人の学生さんの手によって行われ、2週間という非常に短い時間の中にもかかわらず大変素晴らしい壁画が完成しました。

新社屋に移転した当初は、まだ何も描かれていなかったコンクリート壁。それが彩りを得たことで、壁だけではなくエントランスという空間も華やいだものへと変わった印象を受けます。壁画完成から4ヶ月程が経ちましたが、今ではすっかり周囲の環境にも私たちの生活にも溶け込んで、日常の一部となっているように感じます。

社外の方々のご協力を頂きながらも少しずつではありますが、この壁画のように弊社も地域と共生する企業となれるように努めていきます。

～社長の“ある思い”は裏面のコラムをご覧ください～

歓送迎会が開かれました ～祝☆しつつ仲間入りと頑張れ東京転勤の会～



主役のふたり

4月も終わろうとしていた頃、新入社員歓迎会並びに、東京営業所へ転勤する社員の激励会が開かれました！

社長・部署担当部長の熱い激励の言葉と共に会が始まり、緊張していた新入社員の高木さんも、時間が経つにつれ表情もほぐれ、社員の輪の中で楽しく過ごしていました。

また、転勤する岡本さんも東京での強い意気込みとやる気を伺うことができ、彼に負けないように頑張ろうという気持ちに。

新しい環境で過ごす二人ですが、これからも頑張っていきたいと思うひとときでした。

☆お知らせ☆

役員及び管理職の人事異動がありましたのでご報告致します。

* 大橋守道 取締役部長

兼 東京営業所 所長 → 京都本店 取締役部長

* 奥山昇一 → 東京営業所 所長

* 内海正樹 SPS 事業部 部長

→ 東京営業所 担当部長

文具リユースプロジェクトに参加させて頂きました！

発展途上国の子供たちに、私達が不要になった文具品（状態の良い中古品や未使用品が対象）を届ける文具リユースプロジェクト。

引越しという機会を利用し、身の回りで使用していない鉛筆やノートなど長年放置されていたものを提供させて頂き、無事にフィリピンへ届けられました！

普段、私達が何気なく「使わないな」と思って放置や捨ててしまうものでも、発展途上国の子供たちにとっては『宝物』。

今回の企画に参加させて頂き、日ごろどれほどのものを粗末にしているかなど、考えさせられるものがありました。



主催の取引業者さまからお礼状を頂きました！

* しつつ耳より情報 * SPS-Toolsってなに? *

当社では **SPS-Tools** という SPS データ（積算データ）検証用のアプリケーションを無料で配布させていただいています。
SPS-Tools には、“SPSList”と“SPSViewer”の二つのアプリケーションが含まれています。

SPSList は SPS で入力したデータを帳票形式で表示する為のアプリケーション。正確な数字を検証することができます。

SPSViewer は SPS で入力したデータを 3D で表示し検証できるというもの。

建物を立体的に表示し目でみて確認することができるので、細かな計算書を見るよりも簡単に検証することができます。

また、立体的に表示した建物の中を仮想的に歩くことができる「ウォークスルー」機能などもあり、より細かいところを見ることができます。

ご利用になられる機会があれば是非一度お試しください☆ 詳しくはこちら»» <https://www.sitz.co.jp/sps/index.html>



しっつのひとコマ * キャリアアップ研修

しつつでは、月に1度【キャリアアップ研修】を若手社員対象に行っています。

この研修は、若手社員がさらに上を目指すべく、業務とは違った経済及び経営の知識を学んでいます。

時折、外部から講師の方をお呼びし、大変貴重なお話を聞かせて頂いています。

知らない事を知っていくこと・学んでいくことは楽しく、

毎回奮闘しながらも、貴重な時間だと感じています。

この研修を通じていずれ、経営者になる方が現れるかもしれないですね。

これからも若手社員一丸となって、しつつを盛り上げてくれることを期待します！



特別講師の原田健太先生



井上社長のコラム その2 - 壁画への思い -

旧市街地美観地区において、景観の保全保存を考え町並み形成を崩さない地域の環境化の中でどうしても法的規制で無機質的な現在建築形成になる。防火壁と言うキャンパスに抽象的な絵を描くことにより抽象画が持つ抽象的な動きを通して感じさせる創造性、その抽象性が無機質とはならない景観保全との調和を引き出すと考えました。

京都造形芸術大学において、学生さんとのコラボを考えコンペをし、7作品の中からこの作品を選びました。キャラクターデザイン学科「1 回生」久田 萌さんの作品です。

『静的で落ち着いた色彩の構造物を背景に、新たな未来を創造する可能性を幾何学的でかつ、白で表現した。その二つが調和し、見る人が落ち着けるシンプルな表現を目指した。』

彼女のこの壁画に対するコンセプトでした。この絵に2つの物が同時に存在する。この抽象的な動きが壁画を通して感じる創造性を引き出させる。「この動きは何」とハッとさせる、そして和む。会社の門をくぐることはこの時点で仕事モードの戦闘体勢に入る。気負う気持ちと、和む気持ちが調和出来れば、今日一日の仕事が楽しくできると考えた。と共に、地域の方も同じ思いになればと思いこの絵を選びました。



夏号はいかがでしたでしょうか！？社屋移転からまだ半年ほどですが、今回の記事を製作していると「こんなこともあったな」と思うこともしばしば…。社外報の製作は、自社の歩みを振り返る良い機会になっていることに気付かされます。そんな新たな発見をしながら、精一杯お伝えしていこうと思いますので、次号もどうぞ宜しくお願い致します☆

編集後記

※次号は秋（11月頃）の発行予定です（制作：広報担当 1 班）